

令和4年度（2022年度）
函館市社会学級活動のまとめ



函館市教育委員会
函館市社会学級生連絡協議会

発刊にあたって

函館市社会学級は、市民がよりよい家庭生活、社会生活を築き、教養と知識、技術等を学び合う成人教育の場として開設されてから76年目を迎えました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一昨年度は1年間社会学級事業が休止となりましたが、昨年度は徹底した感染防止対策を講じたうえで社会学級を再開いたしました。

今年度におきましても引き続き感染防止対策を講じたうえで、市内の小中学校13学級（うち1学級は年度途中閉級）において社会学級が開設され、196名の学級生が全体講座で教養を高め、自らの資質の向上に取り組み、充実した学びを展開してきました。

このたび、令和4年度（2022年度）の各学級における学習活動等の成果を「社会学級活動のまとめ」として発刊することとなりました。

本書が今後の社会学級活動の充実と、学級生相互の理解を深められる資料として広く活用されることを期待いたします。

令和5年3月

函館市教育委員会
函館市社会学級生連絡協議会

目次

1	令和4年度函館市社会学級開設要項	1
2	社会学級開設校一覧	2
3	各学級の活動報告	3
	青柳小学校…3 千代田小学校…4 本通小学校…5 本通中学校 …6	
	八幡小学校…7 桔梗小学校 …8 赤川小学校…9 中央小学校 …10	
	鍛神小学校…11 東山小学校 …12 深堀小学校…13 日吉が丘小学校…14	
4	ブロック交流活動（函館市社会学級生連絡協議会事業）	15
5	見学体験学習（函館市社会学級生連絡協議会事業）	17
6	函館市社会学級生連絡協議会	18
	(1) 社会学級生連絡協議会役員およびブロック交流活動推進委員	
	(2) 活動報告	
	(3) 事業報告	
7	社会学級クラブ活動一覧	20
8	函館市社会学級生連絡協議会規約	21
9	社会学級のあゆみ	23

1 令和4年度函館市社会学級開設要項

- 1 趣 旨 社会学級は、地域住民が自らの意思によって加入し、全体講座を通して主体的に学ぶことにより、教養と知識・技術等を学び合う成人教育の場として、教育委員会の求めに応じ、市立小・中学校長が開設し、社会学級開設校（以下「開設校」という。）と社会学級生連絡協議会が責任をもって運営を行う。
- 2 主 催 函館市教育委員会
- 3 開設期間 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで
- 4 開設校 市立小・中学校13校
- 5 社会学級生 開設校の校区内に住所を有する成人等（以下「学級生」という。）
- 6 社会学級の目標
- (1) 地域社会の一員として、地域づくり・学校支援等に協力する。
 - (2) 全体講座を主として、学級生が協力し合いながら自己教育・相互教育となるような学習に取り組み、クラブ活動への参加のみに限定することがないように努める。
 - (3) 全体講座の実施について、他の学級と合同で行うなど、開設校および社会学級主事が協力・工夫をし、社会学級の活性化につながる活動を展開する。
- 7 社会学級主事の設置と役割
- (1) 開設校に社会学級主事を置く。
 - (2) 社会学級主事は、学校長の推薦により、教育委員会が委嘱する。
 - (3) 社会学級主事は、学級生とともに社会学級の運営を行い、必要に応じ学級生に対し、指導・助言を行う。
 - (4) 社会学級主事は、教育委員会との連絡事務を行うとともに、活動について把握し、適切な内容であることを確認のうえ、講座実施報告書を教育委員会へ提出する。
 - (5) 社会学級主事の報酬は、年額10,000円とする。
- 8 学級運営上の留意点
- (1) 社会学級の運営については、学級生と社会学級主事が協力しながら自主的に行う。
 - (2) 謝礼金を必要とする外部講師による講座を実施した場合は、1年度につき1学級ごとに1回5,000円を限度に教育委員会が負担する。
 - (3) 講座の講師謝礼金は、教育委員会において講座実施報告書を精査し、支払対象となる場合は、講師の指定する金融機関口座へ謝礼金を振り込むものとする。
- 9 その他 家庭・社会生活の向上に寄与することを目的として、社会学級生連絡協議会を組織する。

2 社会学級開設校一覧

令和5年2月13日現在

ブロック	学級名	校長名	社会学級主事名	職名	学級長	学級生数(人)		
						男	女	計
1 ブロック	1 青柳小学校	須田 晃至	古山 英樹	教頭	野澤 信子	0	12	12
	2 千代田小学校	高村 幸子	山形 圭亮	教頭	山本 幸子	2	8	10
	3 柏野小学校	西口 昌司	細川 真喜	教頭	—	年度途中で閉級		
	4 本通小学校	小濱 誠	酒井 光史	教頭	金濱 ゆかり	9	20	29
	5 本通中学校	仲井 靖典	葛西 広治	教諭	山 ひろみ・瀬 礼子	0	7	7
	6 八幡小学校	寺本 公彦	能登 雅宏	教頭	赤塚 留美子	3	7	10
	7 桔梗小学校	近江 辰仁	迫田 浩章	教頭	金澤 りさ	0	43	43
2 ブロック	8 赤川小学校	齊藤 精克	浅野 友善	教頭	坂田 健治	7	7	14
	9 中央小学校	西田 直	笹原 史裕	教頭	原田 由紀子	1	5	6
	10 鍛神小学校	石川 嘉明	三上 泰司	教頭	浅川 安公子	0	14	14
	11 東山小学校	永井 貴之	竹内 昭夫	教頭	倉崎 由衣子	6	9	15
	12 深堀小学校	島 修一	伊藤 圭	教頭	多田 成敏	11	6	17
	13 日吉が丘小学校	中田 裕治	田邊 奨	教諭	石崎 美奈子	0	19	19
計						39	157	196

3 各学級の活動報告

青柳小学校社会学級（学級生 12名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	4	開講式	講話	古山 英樹	教頭
2	6	市立函館博物館 企画展「平沢屏山とその時代」「写真でたどる函館の百年」	鑑賞	奥野進, 保科智治	市立函館博物館 学芸員
3	7	道立函館美術館「魅惑の西洋近代絵画」	鑑賞	—	—
4	9	社会学級生フェスティバル（開会式・講演会）	講話	山田 かおり	縄文DOHNANプロジェクト 代表
5	10	脳活&ふまネット研修会	実習	水谷 眞貴子	福祉レクコーディネーター ふまネット・スクエアステップ指導員
6	12	「SDGsって何？」研修会	講話	丸藤 競	まちづくりセンター センター長
7	3	閉講式	講話	古山 英樹	教頭

【令和4年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

○「平沢屏山とその時代」「市制100年パネル展」

日時 6月30日（木）

場所 博物館 参加者 10名

☆絵の中で使用されているウルトラマリンブルーにライトを当てると現れる、色鮮やかなブルーには学級生一同魅了されました。

☆市制100年誠にありがとうございます。

○「脳活&ふまネット」研修会

日時 10月13日（木）

場所 青柳小学校視聴覚室 参加者 10名

☆意欲的に脳と身体に刺激を与え、ナチュラルキラー細胞増殖。脳も身体もウキウキわくわくニコニコ気分満開！毎日の生活に取り入れたいとの声が多く今後の課題が出来ました。

○「SDGsって何」研修会

日時 12月1日（木） 場所 函館市まちづくりセンター 参加者 9名

☆SDGsとは持続可能な開発目標の略称です。国連加盟193カ国が2016～2030年の15年間で達成する行動計画。誰一人取り残さないを理念として17の大きな目標について学びました。達成目標は程遠いようですが、止まることなく進んで行く事が大事と考えます。出来ない理由ではなく、出来るようにするために今必要なことを考える。例えば長く使える傘を選ぶと（傘職人の継承、地場産業を守る、ごみの削減、海洋マイクロプラスチック削減）、冷蔵庫の中の食品をこまめに整理すると（無駄な食品輸入を減らす、エネルギーの無駄遣いをなくし商品ロスが減らす、二酸化炭素排出量の削減、乱獲、生産過剰の防止）。シャンプーのあとはタオルドライなど、まず今出来る事から初めてみようと思います。悪いところを指摘するのではなく、良いと思ったことを始める。周りを「良し」にするための“よりどころ”がSDGs。地球の皆がニコニコと笑って生きて行かれますように願っていると同時に、私達のささやかな一歩から歩みたいと強く感じています。

活動の様子



千代田小学校社会学級（学級生 10名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	4	開講式	講話	高村 幸子	校長
2	9	社会学級生フェスティバル（開会式・講演会）	講話	山田 かおり	縄文 DOHNAV プロジェクト 代表
3	9	社会学級生フェスティバル（ソフトバレー交歓会）	習熟	-	-
4	10	パークゴルフを楽しむ	野外活動	田口 順子	社会学級生
5	10	はこだて男女共同参画フォーラム 2022 「はじめての LGBTQ～性の多様性と人権～」	講話	杉山 文野	(株) ニューキャンパス 代表
6	3	閉講式	講話	山形 圭亮	教頭

【令和4年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

【スポーツ交流会】

日時 9月5日（月） 13:00～16:00

場所 函館アリーナ サブアリーナ

参加者 7名

概要 ソフトバレー交流会には2校が参加し、試合を行いました。他校との交流は久しぶりだったので、楽しくバレーボールをすることができました。

【パークゴルフ講座】

日時 10月12日（水） 10:00～12:00

場所 志海苔パークゴルフ場

参加者 6名

概要 学級生の田口さんを講師にパークゴルフのルール等基礎から教わり、2チームに分かれて楽しくラウンドしました。天気がよかったので、とても気持ちのよい汗をかくことができました。

【活動のまとめ】

コロナウイルス感染に気をつけてソフトバレーの活動、講座での学習と楽しくできました。

次年度はもう少し学級生を増やし、バレーボールや各種講座の充実につなげたいと考えています。

本通小学校社会学級（学級生29名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	4	開講式	講話	小濱 誠	校長
2	4	スポーツ教室	実習実技	金澤 由美子	社会学級生
3	5	五稜郭公園散策（季節の花々の鑑賞と公園の歴史を学ぶ）	野外活動	遠藤 敏子	社会学級生
4	7	見学体験学習 市立函館博物館 企画展「平沢屏山とその時代」「写真でたどる函館の百年」	鑑賞	-	-
5	7	1ブロック交流会 道立函館美術館「魅惑の西洋近代絵画」	鑑賞	村山 史歩	学芸課長
6	9	社会学級生フェスティバル（開会式・講演会）	講話	山田 かおり	縄文DORHANプロジェクト 代表
7	9	社会学級生フェスティバル（ミニバレー交歓会）	実習実技	-	-
8	9	社会学級生フェスティバル（バドミントン交歓会）	実習実技	-	-
9	10	市立函館博物館 企画展「平沢屏山とその時代」「写真でたどる函館の百年」	鑑賞	-	-
10	10	はこだて男女共同参画フォーラム2022 「はじめてのLGBTQ～性の多様性と人権～」	講話	杉山 文野	(株)ニューキャンパス 代表
11	11	ヨガ	実習実技	山廣 恵美	ヨガインストラクター
12	2	スポーツ交流会	実習実技	金澤 由美子	社会学級生
13	2	閉講式	講話	酒井 光史	教頭

【令和4年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

(1) 全体講座の実施

① 第1回講座（五稜郭公園散策：季節の花々の鑑賞と公園の歴史について学ぶ）

- ・日 時：令和4年5月27日（金）14：00～
- ・場所等：五稜郭公園・11名参加

五稜郭の構造、稜堡、半月堡の意味や役割についてフィールドワークを通じて学んだ。また、石碑を巡り、建立に至った歴史的経緯を学んだ。

地元に住んでいて日頃からよく訪れる史跡ではあるが、知らないことが多くあり、郷土の歴史について学ぶよい機会となった。当日は雨天というあいにくの天候であったが、藤やつつじの花が美しく、学級生の心身のリフレッシュにつながる機会となった。



② 第2回講座（ヨガ教室：心身の健康につながる呼吸法やエクササイズについて学ぶ）

- ・日 時：令和4年11月26日（土）14：30～
- ・場所等：本通小学校体育館・12名参加

基本的なストレッチから始め、ヨガの呼吸法を交えた様々なポーズや姿勢の在り方について学んだ。

普段は使わない部分のストレッチの仕方や呼吸法など、今後の健康づくりに生かせる内容について理解を深める貴重な機会となった。



(2) 活動のまとめ

3年ぶりとなる行動制限のない中での活動となったが、学級生が安心して参加できるよう野外や体育館において、感染症対策を十分に講じながら各講座を実施することができた。

本通中学校社会学級（学級生 7 名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	4	開講式「絵を描くには」	実習	仲井 靖典	校長
2	6	みそ作り体験教室	実習	服部 由美子	服部醸造(株) 代表取締役・ミソソムリエ
3	7	バラの花飾りのピンボード作り	実習	山田 ひろみ	社会学級生
4	9	社会学級生フェスティバル（開会式・講演会）	講話	山田 かおり	縄文DOHNANプロジェクト 代表
5	11	手作りパン教室	実習	日下部 優子	「こすもす」 オーナー
6	12	おしりサンタ・クリスマスリース作り	実習	加藤 礼子	社会学級生
7	3	閉講式	講話	仲井 靖典	校長

【令和4年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響下での活動となりました。活動に制約のある中、八雲にある服部醸造さんのご協力で、みそ作りを体験させていただきました。みそ作りの合間には、明治維新のおり、名古屋尾張藩に仕えた服部家の祖先が、北海道開拓の使命を担い、1927年八雲の地にて創業したという話や尾張藩ゆかりの創業の商標の話等を伺いました。さらに熟成したみそを受け取りに行った時には、服部醸造さんの歴史を感じ取れるミニギャラリーを見せていただき、北海道開拓の一端を垣間見たように思いました。

最近では、みその消費量が減少しているようで、みそを使ったお菓子や発酵食品などを開発、製造して企業努力しているとのこと。みそや発酵食品は健康や美容にいいと思います。どんどん食生活に取り入れたいと思いました。

次年度もまたコロナ禍での活動になりそうですが、楽しく有意義な新しい体験ができることを願っています。



八幡小学校社会学級（学級生10名）

回	月	学習テーマ	習法	講師名	役職名
1	5	開講式	講話	能登 雅宏	教頭
2	7	見学体験学習 市立函館博物館 企画展「平沢屏山とその時代」「写真でたどる函館の百年」	鑑賞	-	-
3	7	1ブロック交流会 道立函館美術館「魅惑の西洋近代絵画」	鑑賞	村山 史歩	学芸課長
4	9	社会学級生フェスティバル（開会式・講演会）	講話	山田 かおり	縄文DOHNANプロジェクト 代表
5	10	はこだて男女共同参画フォーラム2022 「はじめてのLGBTQ～性の多様性と人権～」	講話	杉山 文野	(株)ニューキャンパス 代表
6	3	閉講式	講話	能登 雅宏	教頭

【令和4年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

- 7月 見学体験学習 「市立函館博物館見学」
日時 7月14日（木）10時20分～11時20分
場所 市立函館博物館
参加者 3名
◎企画展「平沢屏山とその時代」と常設展「はこだての歩み」
市制百年記念「写真でたどる函館の百年」を鑑賞する。

- 7月 第1ブロック交流 美術展鑑賞会
日時 7月22日（金）10時～10時40分
場所 道立函館美術館
参加者 2名
◎笠間日動美術館コレクション「魅惑の西洋近代絵画展」を鑑賞する。

- 9月 社会学級講演会「縄文から繋がるまちづくり」
日時 9月1日（木）10時～11時30分
場所 函館市民会館小ホール
参加者 5名
◎自分の暮らしている町を知り、愛郷心を育てていきたいという話に共感を覚えました。

<活動のまとめ>

- 今年もコロナ禍の中、少人数ながらも講座や応援会に参加することができました。
次年度も会員同士の親睦が深まる講座を開設していきたいと思っております。

桔梗小学校社会学級（学級生43名）

回	月	学習テーマ	学習法	講師名	役職名
1	4	開講式	講話	-	-
2	6	旧函館区公会堂見学	見学	林 田 鶴子	函館一會の会ボランティア
3	7	見学体験学習 市立函館博物館 企画展「平沢屏山とその時代」「写真でたどる函館の百年」	鑑賞	-	-
4	7	1ブロック交流会 道立函館美術館「魅惑の西洋近代絵画」	鑑賞	村山 史歩	学芸課長
5	9	社会学級生フェスティバル（開会式・講演会）	講話	山田 かおり	縄文DOHNANプロジェクト 代表
6	9	社会学級生フェスティバル（ミニバレー交歓会）	実習	-	-
7	10	ポーセラーツ	実習	広田 美保	ポーセラーツ教室 講師
8	11	社会学級生フェスティバル（音楽発表会）	実習	-	-
9	12	キャンドル作り	実習	小林 裕美子	社会学級生
10	2	閉講式	講話	-	-

【令和4年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

今年度も、新型コロナウイルス感染対策を講じた上での開催でしたが、昨年度を参考にして、活動を進めることができました。

(1) 6月23日（木）「旧函館区公会堂（西部地区）見学」

函館の歴史から公会堂建設の過程、また公会堂の魅力など、幅広い深い知識と函館愛にあふれる解説を聞き、歴史ある函館の奥深さを再認識しました。



(2) 7月22日（金）「北海道立函館美術館見学」

「魅惑の西洋近代絵画を楽しもう」をテーマとし、展示作品の時代背景や作者の人物像等に迫ることで、作品が生み出された必然性等も感じることができました。



(3) 10月18日（火）「ポーセラーツ」

初心者・経験者交えての、和気あいあいとした中での活動となりました。転写シートを選び、小皿に配置して1人で1～2枚を作成しました。



(4) 11月18日（金）「社会学級フェスティバル 交流音楽発表会」

日吉が丘小学校合唱部と桔梗小学校コーラス部による合唱が、計12曲披露されました。

感染対策の中、練習も大変だったと思いますが、聴きごたえのある合唱で、学級生も聴衆も楽しむことができました。



(5) 12月7日（水）「キャンドル作り」

作業工程は、ガラス製の器に選んだドライフラワーを入れ、ジェルワックスを入れます。その上にクレヨンを削って色を付けたロウを入れる作業を行いました。入れるドライフラワーの量で見栄えも変わり、大変驚きました。



赤川小学校社会学級（学級生14名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	5	開講式	講話	浅野 友善	教頭
2	6	龍宝寺にて座禅会	講話	小林 無筈	函館座禅会長
3	7	見学体験学習 市立函館博物館 企画展「平沢屏山とその時代」「写真でたどる函館の百年」	鑑賞	-	-
4	9	社会学級生フェスティバル（開会式・講演会）	講話	山田 かおり	縄文DOHNANプロジェクト 代表
5	10	2ブロック交流会 スポーツ交流会（バドミントン大会）	実習競技	-	-
6	12	雪かき	奉仕活動	-	-
7	2	閉講式	講話	浅野 友善	教頭

【令和4年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

今年度はコロナウィルス感染予防をしながら開講でした。途中で活動休止になるなど、思うようには活動できませんでしたが、試行錯誤しながら学ぶことができました。

○6月 講座「龍宝寺にて座禅会」

- 実施日 6月4日（土） ○場 所 龍宝寺2階
- 参加者 8名
- 内 容 函館座禅会長 小林無筈氏による座禅の意義や座禅への取り組み方などについての講話や講師による指導のもと、実際に座禅を体験。
- 感 想 座禅をすることによって雑念を取り払い、平穏で自由な心を獲得することができました。



○7月 見学「博物館を見学し、函館の歴史や文化を学ぶ」

- 実施日 7月14日（木） ○場 所 市立函館博物館
- 参加者 4名
- 内 容 箱館戦争や函館大火などの歴史資料、戦後の生活道具などの民俗資料の見学。
- 感 想 住み慣れた函館の歴史や文化などについて、改めて学ぶことができました。



○9月 講座「縄文から繋がるまちづくり」

- 実施日 9月1日（木） ○場 所 函館市民会館 小ホール
- 参加者 5名
- 内 容 縄文 DOHNAN プロジェクト代表 山田かおり氏による「北海道・北東北の縄文遺跡群」の理解促進や活用に向けた様々な取組についての紹介。
- 感 想 縄文時代は狩猟のイメージがあったが、心地よい穏やかな生活実態があることを学ぶことができました。



○10月 「ブロック交流会」(バドミントン)

- 実施日 10月15日（土） ○場 所 サン・リフレ函館
- 参加者 9名
- 内 容 代表者からの挨拶（交流会の趣旨の説明や今後の予定などについて）。ダブルスのペアをシャッフルしての対戦方式。
- 感 想 ダブルスのペアをシャッフルして対戦することで、親睦を深めることができました。また、交流の中で、各学級の普段の活動の様子を互いに確認し合うことができました。



これからも感染予防に留意しながらの活動を楽しみ、学習していきたいと思っております。

中央小学校社会学級（学級生 6 名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	6	開講式	講話	笹原 史裕	教頭
2	7	見学体験学習 市立函館博物館 企画展「平沢屏山とその時代」「写真でたどる函館の百年」	鑑賞	-	-
3	9	社会学級生フェスティバル（開会式・講演会）	講話	山田 かおり	縄文 DOHNAN プロジェクト 代表
4	9	社会学級生フェスティバル（バドミントン交歓会）	実習実技	-	-
5	10	2ブロック交流会 スポーツ交流会（バドミントン大会）	実習実技	-	-
6	3	美文字につながるきっかけ講座	実習実技	林 共 絵	アート教室 講師
7	3	閉講式	講話	笹原 史裕	教頭

【令和 4 年度の活動を振り返って】

＜事業の紹介＞

今年度の活動も、コロナ禍でのスタートということもあり、卓球 3 名、バドミントン 3 名、開講式も少し遅くなりました。今年は、メンバーの状況も変化し、仕事の都合等で集まれず、活動ができない日もありました。

全体講座も予定していますが、コロナの感染者状況の様子を窺いながら、実施に向けて、なかなか踏み込めずにいましたので、現在、講師の先生とも相談しているところです。

7 月には、見学体験学習として、市立函館博物館を訪問しました。函館市に 50 年以上、住んでいますが、初めて見学したこともあり、特に、「函館の百年」は、近代函館市の発展と確かな足跡を強く感じるものとなりました。

また、昨年度、コロナ禍のため中止となった、山田かおりさんの講話でしたが、9 月に入り実現することができました。参加者一同、楽しく聞かせていただきました。

来年度の中央小学校も、細々だと思いますが、長く活動を続けたいと願っております。皆様の御支援と御協力に感謝申し上げます。

鍛神小学校社会学級（学級生 14名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	5	開講式	講話	三上 泰司	教頭
2	7	「平和への願い」をこめて千羽鶴づくり	奉仕活動	風間 美智子	社会学級生
3	7	見学体験学習 市立函館博物館 企画展「平沢屏山とその時代」「写真でたどる函館の百年」	鑑賞	-	-
4	9	社会学級生フェスティバル（開会式・講演会）	講話	山田 かおり	縄文DOHNANプロジェクト 代表
5	9	社会学級生フェスティバル（ソフトバレー交歓会）	実習実技	-	-
6	10	2ブロック交流会 スポーツ交流会（バドミントン大会）	実習実技	-	-
7	10	はこだて男女共同参画フォーラム2022 「はじめてのLGBTQ～性の多様性と人権～」	講話	杉山 文野	(株)ニューキャンパス 代表
8	12	「正月帯飾り」を作ろう！	実習実技	室田 眞規子	工房・マキ 店主
9	2	閉講式	講話	三上 泰司	教頭

【令和4年度の活動を振り返って】

＜事業の紹介＞

- 9月 「スポーツ交歓会」ソフトバレーボール部会参加
日 時： 9月5日（月）13：00～16：30
会 場： 函館アリーナ サブアリーナ 参加者：6名
☆3年ぶりの交歓会でソフトバレーボールを楽しみました。千代田小学校と人数が合わな
いため、両校で混合チームを作り総当たり戦を実施しました。審判の手順，方法を確認
しながらプレーし，少ない人数でも親睦できて楽しく終わることができました。
- 10月 「はこだて男女共同参画フォーラム2022」杉山 文野 氏 講演会
日 時： 10月22日（土）14：00～15：30
会 場： 函館市中央図書館 参加者：4名
☆「はじめてのLGBTQ～性の多様性と人権～」と題し，トランスジェンダーである自身の体
験を通し性に対する新しい価値観，多様性を認める社会・平等・公平・解放について話さ
れました。函館市でもパートナーシップ宣誓制度が導入され，タイムリーで有益な講演
でした。
- 12月 「お正月飾り作り」講座
日 時： 12月16日（金）9：30～12：00
会 場： 亀田交流プラザ 3F 小会議室 参加者：6名
☆講師の“工房・マキ”の室田先生のご指導の下，飾りをつけて帯をリメイクした長く使
えるお正月飾りを作製しました。各々，個性的ゴージャスな飾りが出来上がりました。

＜活動のまとめ＞

今年度は，コロナ感染予防対策に試行錯誤しながらも
事業参加，講座を開くことができました。

来年度も予防対策をしながら会員みんなが楽しく
学べるような講座を考えていきたいと思ひます。



東山小学校社会学級（学級生15名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	4	開講式	講話	竹内 昭夫	教頭
2	7	ZUMBA 体験講座	実習	山廣 恵美	ZUMBA インストラクター
3	7	見学体験学習 市立函館博物館 企画展「平沢屏山とその時代」「写真でたどる函館の百年」	鑑賞	-	-
4	9	社会学級生フェスティバル（開会式・講演会）	講話	山田 かおり	縄文DOHNANプロジェクト 代表
5	9	社会学級生フェスティバル（バドミントン交歓会）	実習	-	-
6	10	2ブロック交流会 スポーツ交流会（バドミントン大会）	実習	-	-
7	3	閉講式	講話	竹内 昭夫	教頭

【令和4年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

東山小学校 社会学級 バドミントン部 活動

今年は、2年越しの交歓会を開催することができました。2年前、当番校になってから学級数が減り、学級生が減り、一時はどうなることかと思いましたが、バドミントン部4校（赤川、本通、深堀、東山）で開催の準備に当たりました。少なくなった人数でどのように開催するかの相談は各校の代表の皆さんとまめに連絡をとるようにし、ご協力いただきながら準備ができました。しかし、当日は赤川小学校が活動停止により3校での開催となってしまいました。とても残念でしたが久しぶりの他校との交流はとても楽しくやることができて良かったとの感想がほとんどでした。

その後、ブロック交流会もバドミントンを開催することになり、今年は2度も楽しい他校との交流ができました。

活動できない時期があったからこそ、他校との交流ができなかったからこそ、今回の交流は、素晴らしい活動だとしみじみ感じています。

東山小学校としては、ズンバ体験講習会を開催。ダンスを楽しみながらのエクササイズは日頃使っていない身体の部分がこんなにあるんだと思知らされるほど大変でした。しかし、楽しい音楽と講師の楽しい声がけはワクワクするものでしっかり楽しむことができました。

まだまだ油断のできない毎が続きますが、みんなで気をつけて楽しい活動が続けられたらと願うばかりです。

東山小学校 倉崎由衣子

深堀小学校社会学級（学級生 17 名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	4	開講式	講話	伊藤 圭	教頭
2	7	大森浜海岸清掃	奉仕活動	-	-
3	7	見学体験学習 市立函館博物館 企画展「平沢屏山とその時代」「写真でたどる函館の百年」	鑑賞	-	-
4	9	社会学級生フェスティバル（開会式・講演会）	講話	山田 かおり	縄文DOHNANプロジェクト 代表
5	9	社会学級生フェスティバル（バドミントン交歓会）	実習競技	-	-
6	10	2ブロック交流会 スポーツ交流会（バドミントン大会）	実習競技	-	-
7	11	「性の多様性と人権 誰もが生きやすい環境づくり」	講話	高山 香代子	社会学級生
8	2	閉講式	講話	伊藤 圭	教頭

【令和4年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

7 月 奉仕活動 大森浜海岸清掃

《日 時》 7月2日（土）
7：00～8：00

《場 所》 大森浜 No5 エリア

《参加者》 10名

新型コロナの影響で3年ぶりに開催された大森浜環境美化活動に参加しました。観光客も立ち寄る砂浜を綺麗にしたいと思う多くの参加者により、海岸のゴミはあっという間に無くなりました。

今後も地域における活動に積極的に取り組んでいきたいと思えます。



9 月 講話 縄文から繋がるまちづくり

《日 時》 9月1日（木）10：15～11：15

《場 所》 函館市民会館小ホール

《参加者》 4名

世界文化遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」は長期にわたり持続可能な社会を実現した日本特有の優れた文化でした。現代に生きる私達もこの文化を誇りとして受け継ぎ、未来へと伝えていくことが大切だと考えます。

<活動のまとめ>

新型コロナの感染防止に努めながら、3年ぶりの野内、野外での学習活動やスポーツ活動を行うことができた一年でした。

来年度も感染対策を徹底し、感染リスクの高い行動を控え、健康に留意しながら各種活動を行っていききたいと思えます。

日吉が丘小学校社会学級（学級生 19 名）

回	月	学習テーマ	習法	講師名	役職名
1	7	開講式	講話	中田 裕治	校長
2	7	見学体験学習 市立函館博物館 企画展「平沢屏山とその時代」「写真でたどる函館の百年」	鑑賞	-	-
3	9	社会学級生フェスティバル（開会式・講演会）	講話	山田 かおり	縄文 DOHNAN プロジェクト 代表
4	11	作品と音楽表現	講話・ 実習	三國 万里	小学校教諭
5	11	社会学級生フェスティバル（音楽発表会）	実習	-	-
6	3	閉講式	講話	中田 裕治	校長

【令和4年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

新年度の開講が少し遅れ、コロナ禍で学校利用ができない時もある中で、連絡協議会主催の事業に助けられました。

「見学体験学習」「フェスティバル」の講演会では、地域の歴史遺産と貴重な文化財を再確認することができました。

「ブロック交流」では、バドミントン競技の躍動感あふれるプレーにパワーをいただきました。

学級独自の講座『作品と音楽表現』（11月13日）は必要に迫られてのものでした。同月18日の音楽発表会が近づいても不安いっぱい状況でした。そのため7曲の演奏予定を5曲に変更し、曲の背景に近づくことにしました。

中島みゆきの「時代」を聴いた女の子が自殺を思い止まったということも知りました。曲に対する共通認識が気持ちをつなぐことになったのか、当日の発表は高評価をいただくことになりました。

60代から90代の学級生（部員）との触れ合いには多くの学びがあり、他学級との交流も嬉しいものでした。

試行錯誤の中で楽しみながら学ぶことのできた一年でした。

関係者の皆様に感謝です。



4 ブロック交流活動（函館市社会学級生連絡協議会事業）

第1ブロック交流活動

担当校：桔梗小学校社会学級

ブロック交流活動推進委員：浜 ひさ子

1 活動テーマ

「魅惑の西洋近代絵画を鑑賞し交流しよう！」

2 活動のねらい

- (1) 第1ブロックの学級生の交流と親睦を深める
- (2) コロナ禍のなか感染対策に留意し、西洋の近代絵画を鑑賞し、作者やその人物像や時代背景に理解を深める。

3 活動計画

- 5月中旬 企画内容決定
- 6月15日 各学級へ案内文書送付
- 7月22日 魅惑の西洋近代絵画鑑賞実施

4 活動学級名と参加者数

- ・千代田小 1名 ・本通小 8名 ・本通中 5名 ・八幡小 2名
- ・桔梗小 11名 合計 27名

5 活動内容

- ・日時：令和4年7月22日（金） 10:00～11:30
- ・場所：道立函館美術館
- ・内容：村山 史歩 学芸課長より展示作品の時代背景や作者の人物像などの解説を受け理解を深めた。その後、自由鑑賞し各学級同士で交流した。

6 参加者の感想

- ・西洋美術の素晴らしさが学芸員の解説により更に良く伝わった。

7 まとめ

- ・コロナ禍のなか、感染対策をしながら実施可能な交流活動を模索しながらも各学級同士楽しく鑑賞、交流できた。



第2ブロック交流活動

担当校：鍛神小学校社会学級

ブロック交流活動推進委員：風間 美智子

1 活動テーマ

「スポーツ交流会 ～ 秋の一日をスポーツで交流しよう！」

2 活動のねらい

- (1) 第2ブロックの学級生の交流と親睦を深める。
- (2) コロナ禍のなか、交流できなかった他学級生との活動をスポーツ（バドミントン）を通して、運営リード、試合参加、試合編成、審判、受付、消毒、会場、会計、準備体操等を分担しながら交流しブロックの活性化を高める。

3 活動計画

- | | |
|--------|------------------------------|
| 9月中旬 | 企画内容決定，各学級に相談，会場取得（サン・リフレ函館） |
| 9月22日 | 各学級に案内文書送付 |
| 10月15日 | 第2ブロック・スポーツ交流会実施 |

4 活動学級名と参加者数

- | | | | |
|--------|---------------|--------|-----------|
| ・赤川小 | 10名（運営リード・編成） | ・中央小 | 1名（受付） |
| ・鍛神小 | 2名（受付・会計） | ・東山小 | 10名（試合交流） |
| ・深堀小 | 12名（準備体操） | ・日吉が丘小 | 1名（受付） |
| 合計 36名 | | | |

5 活動内容

- ・日時： 令和4年10月15日（土）13：00～16：30
- ・会場： サン・リフレ函館・Bコート
- ・内容： バドミントン大会（前半～試合交流，後半～フリー交流）

6 参加者の感想

- ・試合に真剣に取り組む姿からスポーツの良さを感じ気持ちのリフレッシュした。
- ・運営リードを担当された赤川小学級長さんお疲れ様でした。



7 まとめ

- ・運営を通し各学級の良さを知り交流が深まった。

5 見学体験学習（函館市社会学級生連絡協議会事業）

社会学級生連絡協議会 実行委員企画 見学体験学習 2022

実行委員 風間 美智子

1 テーマ

市立函館博物館の企画展「平沢屏山とその時代」と他常設展，市制 100 年記念「写真でたどる函館の百年」パネル展を見学する。

2 目的

- (1) 社会学級活動として，郷土の歴史，文化財や資料を見学し知識を高める。
- (2) 社会学級相互の理解を深めるため交流し，日頃の活動の向上，活性化を目指す。

3 日程 令和 4 年 7 月 1 4 日（木）10:30～11:30（市立博物館前 10:20 集合）

4 活動計画

- 5 月 17 日 第 1 回連絡協議会にて企画提案
 - 6 月 13 日 各学級へ内容案内を送付～申込み先 実行委員
 - 6 月 29 日 申込み締切 参加人数 市立博物館見学（48 名）
 - 7 月 4 日 第 2 回連絡協議会にて日程・見学内容等を確認
 - 7 月 14 日 見学体験学習 2022 実施
- *注意事項 ～ 健康チェック・マスク着用・手指消毒



5 参加学級名・参加者数・グループ誘導係

*10 時 30 分頃より入館 ⇒ 手指消毒 ⇒ 2 階企画展 ⇒自由観覧 *1 グループ（誘導係 原田） ・本通小 2 名 ・八幡小 3 名・赤川小 4 名 ・深堀小 4 名 ・桔梗小 7 名・中央小 1 名 (計 21 名)	*10 時 30 分頃より入館 ⇒ 手指消毒 ⇒ 1 階パネル展 ⇒自由観覧 *2 グループ（誘導係 風間） ・東山小 5 名 ・鍛神小 12 名 ・日吉が丘小 10 名 (計 27 名)
---	---

6 感想

平沢屏山によってアイヌの生活や風土, 年中行事, 和人との交流が生き生きと描かれている。厳しい自然の中で逞しく生きるアイヌの表情が平沢屏山の力強い画風によってより強く伝わってくる。

●函館のパネル展では懐かしい景色に歓声上がる場面もありました。



●3年ぶりの体験学習お天気の良さもあり、函館公園の散策そして仲間たちとの交流郷土の歴史ある財産に触れ、良い時間を過ごすことができました。

6 函館市社会学級生連絡協議会

(1) 社会学級生連絡協議会役員およびブロック交流活動推進委員

	1ブロック	2ブロック
企画運営 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・野澤 信子【青柳小】 (副委員長) ・浜 ひさ子【桔梗小】 (会計・書記兼任) 	<ul style="list-style-type: none"> ・風間 美智子【鍛神小】 (委員長) ・大橋 立磨【赤川小】 (副委員長) ・原田 由紀子【中央小】 (会計・書記兼任)
会計監査	<ul style="list-style-type: none"> ・池上 てるみ【千代田小】 	<ul style="list-style-type: none"> ・石崎 美奈子【日吉が丘小】
ブロック交流 活動推進委員	<ul style="list-style-type: none"> ・浜 ひさ子【桔梗小】 	<ul style="list-style-type: none"> ・風間 美智子【鍛神小】

(2) 活動報告

連絡協議会の開催		
第1回	5月17日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度決算等の報告 ・今年度の運営方針・事業内容等の決定
第2回	7月4日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会学級生フェスティバル等について協議 ・見学体験学習・ブロック交流活動について
第3回	11月7日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度事業実施状況の報告 ・「社会学級活動のまとめ」原稿作成について依頼 ・次年度の役員体制について協議
第4回	2月13日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・2月以降の講座実施報告書の提出について ・「社会学級活動のまとめ」作成について ・次年度の企画運営委員・ブロック交流活動推進委員について
監査会	3月20日(月)	社会学級生連絡協議会の会計監査
企画運営委員会の開催		
第1回	5月17日(火)	今年度の役員の決定
第2回	6月27日(月)	第2回連絡協議会について協議
第3回	10月25日(火)	第3回連絡協議会について協議
第4回	2月3日(金)	第4回連絡協議会について協議
第5回	3月20日(月)	次年度の活動計画等について協議

社会学級生フェスティバル実行委員会の開催			
第1回	7月4日(月)	各部会ごとに協議	
第2回 (反省会)	11月7日(月)	各部会の開催・参加状況について	
ブロック交流会の開催			
ブロック	担当校	実施日	内容
1	桔梗小	7月22日(金)	テーマ：魅惑の西洋近代絵画を鑑賞し交流しよう！ 会 場：道立函館美術館
2	鍛神小	10月15日(土)	テーマ：スポーツ交流会 ～秋の一日をスポーツで交流しよう！～ 会 場：サン・リフレ函館
見学体験学習の開催			
実施日	内容		
7月14日(木)	テーマ：市立函館博物館の企画展「平沢屏山とその時代」と他常設展，市制100年記念「写真でたどる函館の百年」パネル展を見学する。 会 場：市立函館博物館		

(3) 事業報告

社会学級生フェスティバル

開 催 趣 旨	社会学級生の日頃の活動や学習の成果等を発表し，交流を深めるとともに，広く市民に社会学級の取り組みを紹介し，参加を促すことを目的として開催する。		
開催内容・日時・会場・参加人数等			
開 会 式 ・ 講 演 会	9月1日(木) 10:00～11:15	市民会館 小ホール	学級生 77名
ミニバレー交歓会	9月5日(月) 13:00～16:30	函館アリーナ サブアリーナ	2学級(本通小，桔梗小) 14名
ソフトバレー交歓会	9月5日(月) 13:00～16:30	函館アリーナ サブアリーナ	2学級(千代田小，鍛神小) 14名
バドミントン交歓会	9月17日(土) 13:00～16:30	サン・リフレ函館	3学級(本通小，東山小，深堀小) 33名
音楽発表会	11月18日(金) 14:00～15:00	亀田交流プラザ 講堂 1, 2	2学級(桔梗小，日吉が丘小) 37名(ほか指揮・ピアノ4名)

7 社会学級クラブ活動一覧

令和4年5月11日現在

	クラブ名	学級名	人数	学級名	人数	学級名	人数
スポーツ	バドミントン 6学級 73名	本通小	22	八幡小	10	赤川小	14
		中央小	3	東山小	10	深堀小	14
	ソフトバレー 2学級 19名	千代田小	10	鍛神小	9		
	卓球 2学級 7名	中央小	3	東山小	4		
	ミニバレー 2学級 15名	本通小	4	桔梗小	11		
	スポーツクラブ合計	114名		学級生全体に占める割合		60.6%	
文化	合唱・コーラス 2学級 36名	桔梗小	18	日吉が丘小	18		
	手芸 2学級 19名	青柳小	12	本通中	7		
	ボランティア 1学級 6名	鍛神小	6				
	文化クラブ合計	61名		学級生全体に占める割合		32.4%	

※学級生数=188名 (R4.5.11現在)



スポーツクラブ全体 114名



文化クラブ全体 61名

8 函館市社会学級生連絡協議会規約

(名 称)

第1条 この会は、函館市社会学級生連絡協議会と称する。

(事務所)

第2条 この会の事務所を函館市教育委員会事務局内におく。

(目 的)

第3条 この会は社会学級の発展を図るため、情報交換等により社会学級の運営について研究し、あわせて家庭・社会生活の向上に寄与することを目的とする。

(事 業)

第4条 前条の目的達成のため、次の活動を行う。

- (1) 運営・活動状況の交換および研究資料の収集
- (2) 社会学級合同の講座交歓会、その他行事の開催
- (3) その他本会の目的達成に必要な事項

(会 員)

第5条 この会は、社会学級の代表2名以内の委員をもって組織する。

(役 員)

第6条 この会に次の役員をおく。

- | | |
|--------|-----------------------|
| 会長 | 1名 |
| 副会長 | 2名 |
| 企画運営委員 | ブロックから1名（うち書記2名、会計2名） |
| 会計監査 | 2名 |

(役員を選出)

第7条 役員を選出は次のとおりとする。

- (1) 会長および副会長は原則として、前年度企画運営委員の中から、年度当初の例会において選出する。
- (2) 会長および副会長は、企画運営委員会の委員長および副委員長を兼務する。
- (3) 企画運営委員は、ブロックごとに1名を互選する。
- (4) 書記・会計は、企画運営委員の中から選出する。

(役員任期および任務)

第8条 役員任期は1年とし、再任をさまたげない。任務は次のとおりとする。

- (1) 会長は、本会を代表し会務を総括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
- (3) 企画運営委員は、企画運営委員会を構成し、会務の執行を決定する。
- (4) 書記は、この会の書記を担当する。
- (5) 会計は、この会の会計を担当する。
- (6) 会計監査は、この会の会計を監査する。

(会 計)

第9条 この会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。この会の経費は、会費その他の収入をもってあてる。

(会 議)

第10条 この会は次の会議を設ける。

- (1) 例会
- (2) 企画運営委員会

第11条 例会は、会員をもって構成し、次の事項を議決する。

- (1) 規約の改廃
- (2) 役員の変更
- (3) 事業の計画の決定
- (4) 事業報告の承認
- (5) 収支予算の決定
- (6) 収支決算の承認
- (7) その他重要事項

2 例会は、年4回とし会長が招集する。ただし、会長が必要と認めた時は、臨時会を開催することができる。

第12条 企画運営委員会は、次の事項を決定する。

- (1) 例会の議決した事項の執行に関する事。
- (2) 例会に付議すべき事項に関する事。
- (3) その他例会の議決を要しない会務の執行に関する事。

2 企画運営委員会は、会長が必要と認めたとき、または企画運営委員の3分の1以上から会議の目的たる事項を示して請求があったとき開催することができる。

第13条 この規約は、年度当初の例会において変更することができる。

(相談者)

第14条 この会に相談者をおく。

教育委員会の職員と社会学級主事は、社会学級等の企画運営にあたって相談に応じる。

付 則

- この規約は、昭和36年7月26日から施行する。
- この規約は、昭和38年6月11日から施行する。
- この規約は、昭和57年4月1日から施行する。
- この規約は、昭和59年4月26日から施行する。
- この規約は、平成元年4月27日から施行する。
- この規約は、平成8年5月17日から施行する。
- この規約は、平成12年5月10日から施行する。
- この規約は、平成15年5月28日から施行する。
- この規約は、平成18年5月16日から施行する。
- この規約は、平成24年5月16日から施行する。
- この規約は、平成25年5月15日から施行する。

※ 申し合わせ事項

- (1) 企画運営委員の選出にあたってはブロック内で特定の学級に偏らないよう配慮する。
- (2) 会長および副会長1名は、前年度の最終の企画運営委員会で内定し、次年度の第1回連絡協議会において報告し、承認を受ける。
- (3) 各種交歓会は希望学級の参加により開催するものとし、参加人数が足りず単独学級で参加出来ない場合は足りない学級と合同で参加することができる。

9 社会学級のあゆみ

年 代	社会学級のあゆみ	時代の流れ
1945 (昭和20)	<p style="text-align: center;"><社会学級の創出></p> <p>若松小学校が社会学級を開設する (北海道庁の指定校となる)</p> <p>常盤、八幡小学校が社会学級を開設する</p> <p>若松、常盤小学校が文部省指定校となる</p> <p>社会学級の学級数が小学校19、中学校5の 24学級となる</p> <p>市川房枝氏を講師に、社会学級の合同講演会を 開催する</p>	第二次世界大戦終戦
1946 (昭和21)		婦人教養施設「母親学級」の 委嘱
1947 (昭和22)		文部省「父母と先生の会」設置 に関する資料配付
1948 (昭和23)		社会学級開設委嘱の開始
1949 (昭和24)		社会教育施行令公布、小中学校 で社会学級が始まる
1952 (昭和27)		
1953 (昭和28)		
		<社会学級の整備>
1954 (昭和29)	教育委員会が社会教育方針に「社会学級の発展 助長」を挙げ、社会教育資料「各社会学級講座 運営計画書」を紹介する 若松小学校が文部省指定校となる	
1955 (昭和30)		第1回日本母親大会が開かれ る テレビが普及する
1960 (昭和35)	青柳小学校社会学級が文部省指定校となる	
	<社会学級の充実>	
1961 (昭和36)	函館市社会学級生連絡協議会が発足する (社会学級数33) 研修旅行を学習に取り入れる 全市合同社会学級レクリエーション大会を開催 する 社会学級生グループ作品展を市民会館で開催 する	高校全員入学問題全国協議会 が結成される
1962 (昭和37)	第1回社会学級生グループ作品展を丸井今井 デパートで開催する 全市合同研修会を板東義憲氏、渡辺 茂氏を講師 に労働会館で開催する	家庭教育の振興策として国庫 補助事業が始まる
1964 (昭和39)	常盤小学校社会学級が市研究指定校となる 道徳教育充実のため、学校教育との連携を重視 する	
1965 (昭和40)	社会学級の当面する諸問題について意見交換 する	全国子供連合会の設立 中教審が「期待される人間像」 草案を発表する
1966 (昭和41)	家庭および地域環境の健全化と青少年指導の 徹底に努める	

年 代	社会学級のあゆみ	時代の流れ
1967 (昭和42)	第1回社会学級生コース交歓会を開催する (社会学級数39/2, 352名) 社会学級の課題として「学級運営のあり方」を取り上げる	
1969 (昭和44)	第1回社会学級生スポーツ交歓会を開催する	
	<社会学級の充実発展>	
1971 (昭和46)		社会教育審議会が「急激な社会構造の変化に対応する社会教育のあり方」について答申する 「主婦の生きがい論」の思潮が起きる
1973 (昭和48)	「家庭教育の手引き」を発行する	オイルショックが起きる
1975 (昭和50)		国際婦人年
1976 (昭和51)	社会学級研究会を開催する(婦人の立場を見直しながら40代からの生きがいを考える・親と子のあり方, しつけを考える・子どもの生活環境と学習塾を考える・子どもの遊び, 自然との関わりを考える・子どもの進路指導を考える)	国連国際児童年に関する決議がされる
1978 (昭和53)	社会学級生と青少年問題委員との懇談会が開催される	
1981 (昭和56)	研究主題「主体的な活動を求めて」を掲げ, 社会学級の原点を見つめ直す	国際障害者年
1982 (昭和57)		女性による老人問題シンポジウムが開かれる
1986 (昭和61)	社会学級生の意識調査を実施する(社会観, 人生観, 社会学級観, 学習意識等について)	教育改革に関する第二次答申
1987 (昭和62)	社会学級生グループ作品展の会場を市役所に移して開催する(社会学級数52, 社会学級生数4, 169名)	教育課程審議会が「学校教育における生涯学習の基礎の育成について」が答申される
1988 (昭和63)		昭和63年教育白書に「生涯学習の新しい展開」が示される
1989 (平成元)	社会学級生グループ作品展の会場を丸井デパートに移して開催する	消費税導入(3%)
1990 (平成2)	社会学級セミナーで「社会学級のあり方」を取り上げる 社会学級生グループ作品展の会場をテオー小笠原に移して開催する(16学級が出品)	
1991 (平成3)		中教審が「新しい時代に対応する教育の諸制度の改革について」答申する
1992 (平成4)	スポーツ交歓会にミニバレーが加わる	第1回生涯学習フェスティバルが千葉市で開催される 学校週5日制実施

年 代	社会学級のあゆみ	時代の流れ
1993 (平成5)	スポーツ交歓会にソフトバレーが加わる	第1回フォーラム家庭教育が開かれる
1994 (平成6)		児童の権利条約が日本国内で発効される
1997 (平成9)	社会学級主事会が発足する 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「共に学び豊かな心を」を作成する 社会学級生の意識調査を実施する(社会観, 学級運営, 学習認識, クラブ活動, 人間関係について) 社会学級生グループ作品展を市民会館で開催する	消費税が5%になる 拓銀倒産
1998 (平成10)	スポーツ交歓会(ソフトテニス)の会場をサン・リフレ函館に, 音楽発表会の会場を芸術ホールに移して開催する 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「函館の街なみと体験学習」を作成する	長野オリンピック開催
1999 (平成11)	初となる見学体験学習を実施する(青森市/90名) 初となるブロック交流活動を行う 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「楽しく学べるモデルコース」を作成する	
2000 (平成12)	親子ふれあい体験学習を函館公園で実施する 「社会を明るくする運動」で法務大臣より感謝状を受ける 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「はこだての伝説と昔話」を作成する	
2001 (平成13)	見学体験学習を実施(ニセコ/80名) 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「函館・歴史・時代」を作成する	
2002 (平成14)	見学体験学習を実施(江差/78名) 社会学級生フェスティバルを芸術ホール, 市民体育館で開催する 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「はこだて港物語」を作成する	サッカーワールドカップ日韓同時開催
2003 (平成15)	見学体験学習を実施(渡島東部/45名) 社会学級生フェスティバルを芸術ホール, 市民体育館で開催する	
2004 (平成16)	見学体験学習を実施(大沼公園 45名) 社会学級生フェスティバルを芸術ホール, 市民体育館で開催する 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「楽しく学べるモデルコース」の一部見直しを行う 社会学級の現状把握のためのアンケート調査を実施する	駒大苫小牧高校が北海道勢として史上初の甲子園優勝 新潟県中越沖地震発生 道内の自治体で初の市町村合併, 函館市・戸井町・南茅部町・恵山町・椴法華町の1市3町1村が合併, 函館市となる

年 代	社会学級のあゆみ	時代の流れ
2005 (平成17)	見学体験学習を実施(三内丸山遺跡/27名) 市民体育館工事のため、社会学級生フェスティバルを芸術ホール、青年センター、小学校体育館、サン・リフレ函館で開催する 西部地区で一般市民向けの社会学級体験講座を初めて実施する(高盛小/10名)	愛知万博開催 兵庫県尼崎市でJR福知山線脱線事故が発生 駒大苫小牧高校が甲子園連覇
2006 (平成18)	見学体験学習を実施(江差/45名) 社会学級60周年記念、社会学級生フェスティバルを芸術ホール、市民体育館、市民プール、サンリフレで開催する 社会学級開設60周年記念祝賀会をホテルオークランドで行う(76名)	トリノオリンピックで荒川静香選手がフィギュアスケートで日本人初の金メダル獲得 教育基本法改正
2007 (平成19)	見学体験学習を実施(八雲/52名) 社会学級生フェスティバルを芸術ホール、市民体育館で開催する	中空土偶が北海道初の国宝に指定される
2008 (平成20)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール、市民体育館、市民プールで開催する 見学体験学習を実施(知内/48名)	
2009 (平成21)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール、市民体育館、市民プールで開催する 見学体験学習を実施(旧4町村/46名) 社会学級あゆみ展を中央図書館で開催する	函館開港150周年
2010 (平成22)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール、市民体育館、市民プールで開催する 見学体験学習を実施(森/52名)	根岸英一教授と鈴木章名誉教授がノーベル化学賞を受賞
2011 (平成23)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール、市民体育館、市民プールで開催する 見学体験学習を実施(縄文文化交流センター/73名)	東日本大震災発生
2012 (平成24)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール、市民体育館、市民プールで開催する 見学体験学習を実施(市内西部地区/50名)	京都大学の山中伸弥教授がノーベル生理学・医学賞を受賞
2013 (平成25)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール、市民体育館、市民プールで開催する 見学体験学習を実施(市電乗車体験・見学/39名)	2020年の夏季オリンピックの開催地が東京に決定 富士山が世界文化遺産に決定
2014 (平成26)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール、市民体育館、市民プールで開催する 見学体験学習を実施(市内・七飯町/44名)	消費税が8%になる 五稜郭築造150周年
2015 (平成27)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール、函館アリーナ、市民プールで開催する 見学体験学習を実施(恵山・榎法華/26名)	函館アリーナ供用開始 大村智名誉教授がノーベル生理学・医学賞を、梶田隆章教授がノーベル物理学賞を受賞

年 代	社会学級のあゆみ	時代の流れ
2016 (平成28)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール，亀田福祉センター，函館アリーナ，市民プール，サン・リフレ函館，遺愛女子高校で開催する 見学体験学習を実施（七飯／45名）	北海道新幹線開業 初のフルマラソンとハーフマラソンを併せ，函館マラソン開催 リオデジャネイロ・パラリンピックで辻沙絵選手と池崎大輔選手がそれぞれ銅メダルを獲得
2017 (平成29)	社会学級生フェスティバルを市民会館，サン・リフレ函館，函館アリーナ，芸術ホールで開催する	
2018 (平成30)	社会学級生フェスティバルを函館アリーナ，芸術ホール，駒場小学校体育館で開催する	北海道命名150周年 北海道胆振東部地震発生
2019 (平成31 ／令和元)	見学体験学習を実施（市立函館博物館／74名，ロープウェイ／44名） 社会学級生フェスティバルを函館競輪場テレシアター，函館アリーナ，芸術ホール，旭岡小学校体育館，函館サンリフレで開催する 新型コロナウイルス感染症予防のため，2月25日から3月31日までの全ての社会学級活動を停止	新元号「令和」施行 「北海道・北東北の縄文遺跡群」がユネスコ世界文化遺産の国内推薦候補に選定 新型コロナウイルス感染症が発生
2020 (令和2)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により社会学級を1年間休止	亀田交流プラザ供用開始 全都道府県に新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令
2021 (令和3)	新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発令により，5月18日から6月20日まで，ならびに8月28日から9月30日まで社会学級を休止	「北海道・北東北の縄文遺跡群」がユネスコ世界文化遺産に登録 1年延期された東京オリンピック・パラリンピックが開催 パラリンピックで池崎大輔選手が銅メダルを獲得
2022 (令和4)	見学体験学習を実施（市立函館博物館／48名） 社会学級生フェスティバルを市民会館，函館アリーナ，サン・リフレ函館，亀田交流プラザで開催する	民法改正により成年年齢が20歳から18歳へ引き下げ 函館市市制施行100周年記念式典挙行政